

平成 29 年 8 月 16 日（水）から 20 日（日）までの 5 日間、カルスタすぎとにおいて、1945 年に東京で起きた大規模空襲をテーマとした「杉戸町平和企画展」を開催しました。最終日の 20 日（日）には、実際に空襲を体験された藤間 宏夫氏による特別講演会「今だからこそ伝えたい」が行われました。

終戦から 72 年が過ぎ、広島・長崎に投下された原子爆弾（原爆）の被害や、東日本大震災による原発事故など、原子力による被害が注目を浴びる中、原爆の被害者数約 10 万人と同規模の被害が 1945 年（昭和 20 年）の東京でも起きました。

東京の下町を中心に行われたアメリカ軍による大規模な空襲。B29 爆撃機は、東京の中心部に集中する市街地を目標に爆撃を繰り返し、焼夷弾による長時間の火災が被害を拡大させました。

今年の平和企画展は、東京の中心で起きた大規模空襲に焦点をあて、平和の尊さについて考えました。

主催：杉戸町

共催：杉戸町国際交流協会

後援：杉戸町教育委員会、学校法人昌平学園 昌平中学・高等学校

協力：公益財団法人 政治経済研究所 東京大空襲・戦災資料センター、
すみだ郷土文化資料館





杉戸町平和企画展

東京大空襲

昭和20年 東京

アメリカ軍による大規模空襲。

B-29 爆撃機は、東京の中心部に集中する市街地を目標に爆撃を繰り返し、焼夷弾による長時間の火災が被害を拡大させました。

今年の杉戸町平和企画展は、日本の中心・東京で起きた大規模空襲「東京大空襲」に焦点を当て、命の尊さと平和について考えます。

～奪われた尊い命～

開催日時：平成29年8月16日(水)～20日(日)

9:00～21:00 (最終日のみ17:00まで)

会場：カルスタすぎと

主催・問合せ 杉戸町住民参加推進課 Tel: 0480-33-1111

共催：杉戸町国際交流協会 後援：杉戸町教育委員会 学校法人昌平学園中学高等学校

協力：東京大空襲・戦災資料センター すみだ郷土文化資料館

オープン展示

8月16日(水)～8月20日(日)

9時～21時(最終日は17時まで)

◇場所◇ カルスタすぎと オープンギャラリー

◇内容◇

- ・東京大空襲の写真展示
- ・体験者が描いた絵画展示
- ・焼夷弾・防空頭巾・もんぺ等のレプリカ展示など
- ・～杉戸町で起きた空襲～ あの時代を振り返る

イベント

8月20日(日)

13時30分～15時30分(13時開場)

◇講演◇

『今だからこそ伝えたい』

- ・空襲に関する映像の上映
- ・藤間 宏夫さんによる体験談

◇場所◇

カルスタすぎと 多目的ホール

◇入場料◇

無料(事前申込不要・先着順)

講師プロフィール



空襲体験者 **藤間 宏夫** (ふじま ひろお)

1938年(昭和13年)8月10日生まれ。東京都出身。草加市在住。東京大空襲当時(1945年(昭和20年)3月10日)、日本橋の浜町2丁目に在住。自宅に焼夷弾が直撃するが、何とか一命をとりとめる。その後、静岡県に疎開。そこでも空襲を体験し、食糧不足の生活を送る。平成28年から、語り部としての活動を始め、各地で講演を行う。

【主な出演】
東京大空襲を語り継ぐつどい(2017.3)、NHK『戦跡 薄れる記憶』(2016.8)

※展示・イベント内では、空襲被害の写真や映像が含まれておりますので、予めご承知おきください。

杉戸町生涯学習センター カルスタすぎと ☎0480-31-2111

〒345-0042 埼玉県北葛飾郡杉戸町大字大島 477 番地 8

県道26号境杉戸線「杉戸」交差点を北西方向に曲がり、800mほど直進して右折してください。
案内看板があります。【駐車場100台完備】

平成 29 年度 杉戸町平和企画展
「東京大空襲戦争 ～奪われた尊い命～」

来場者アンケート集計結果

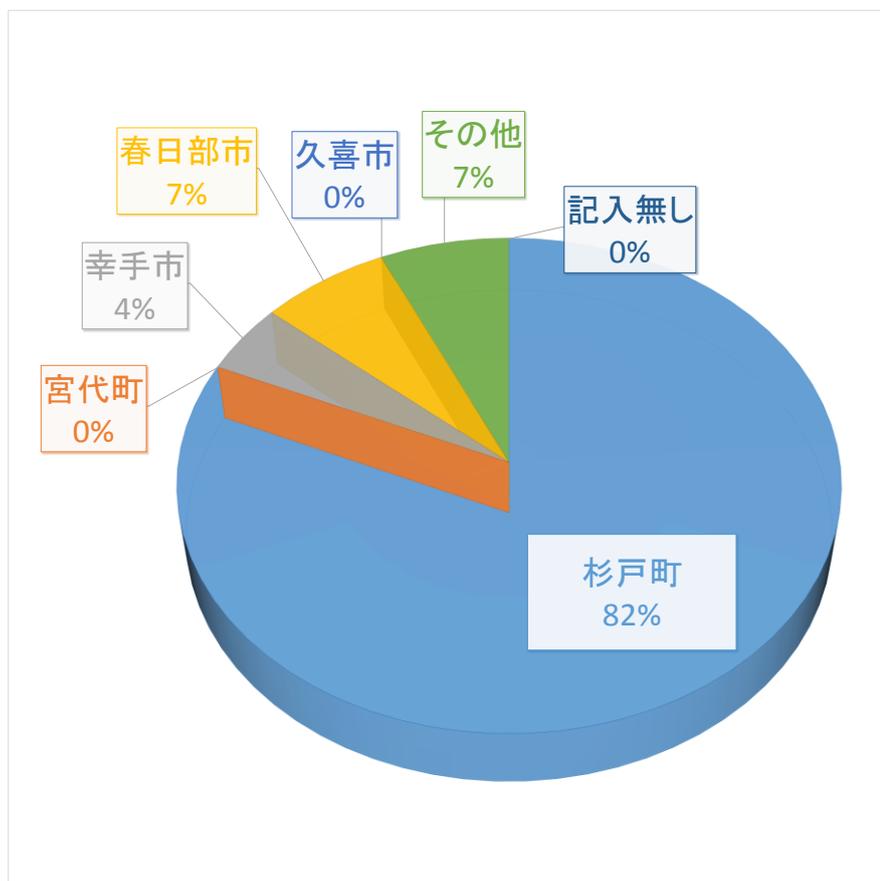
開催期間：平成 29 年 8 月 16 日（水）～ 20 日（日） 9 時～21 時

開催場所：杉戸町生涯学習センター カルスタすぎと

・ アンケート回収数

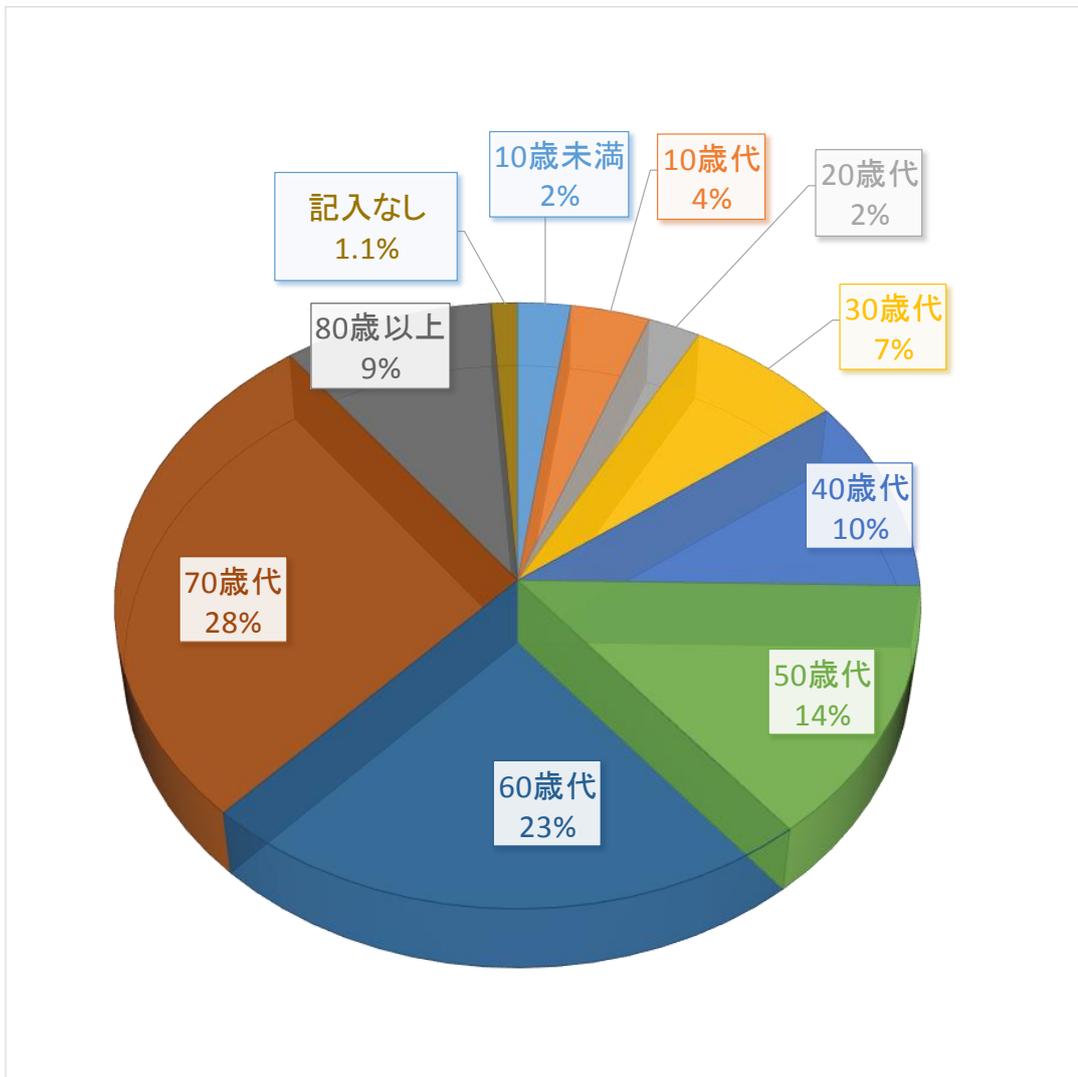
項目	回収数
展示用（8/16～8/20）	49
講演会用（8/20）	38
合 計	87

1. お住まいの市区町村はどちらですか？

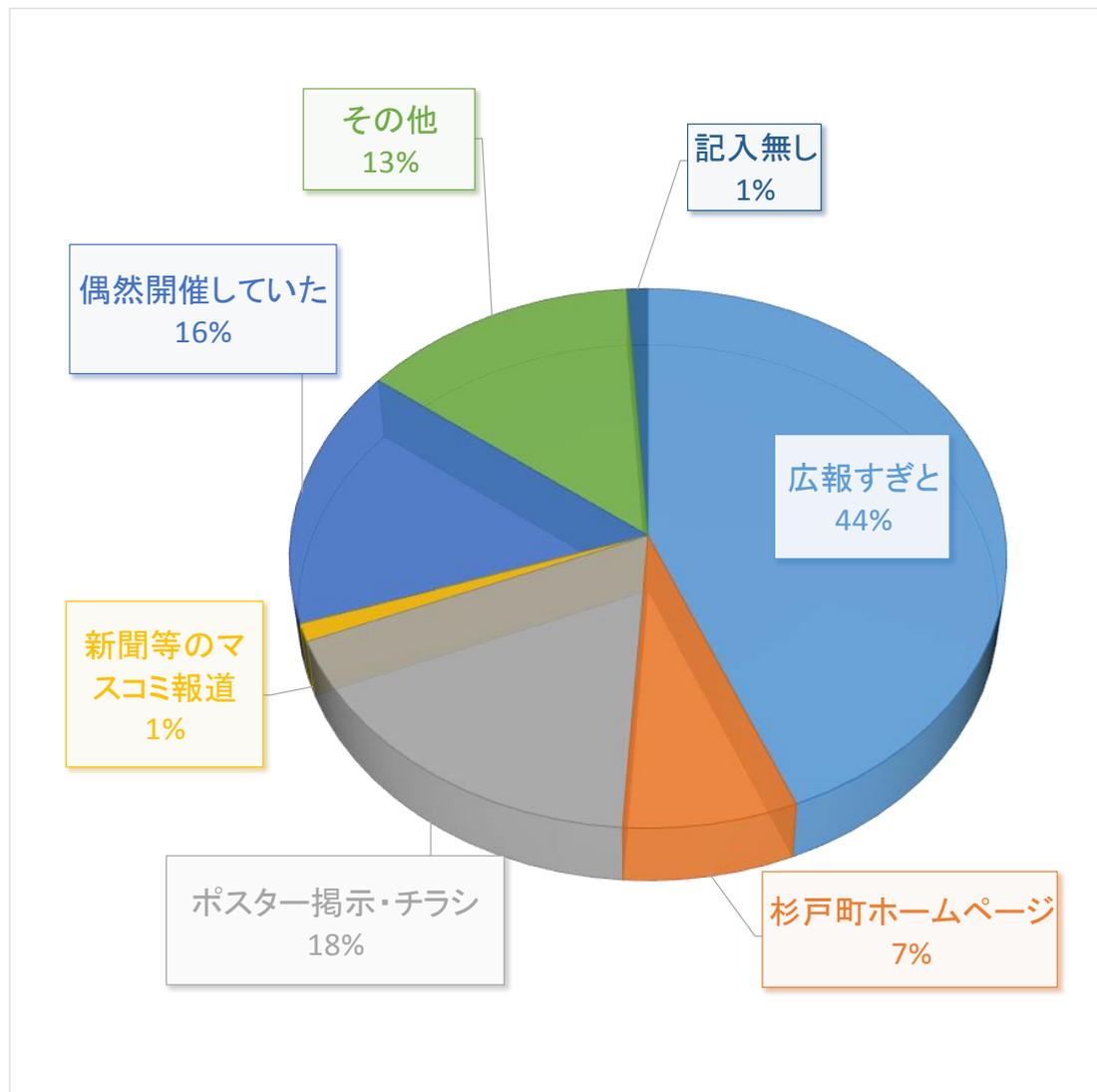


「その他（7%）」の内容：五霞町

2. あなたの年齢（年代）は？

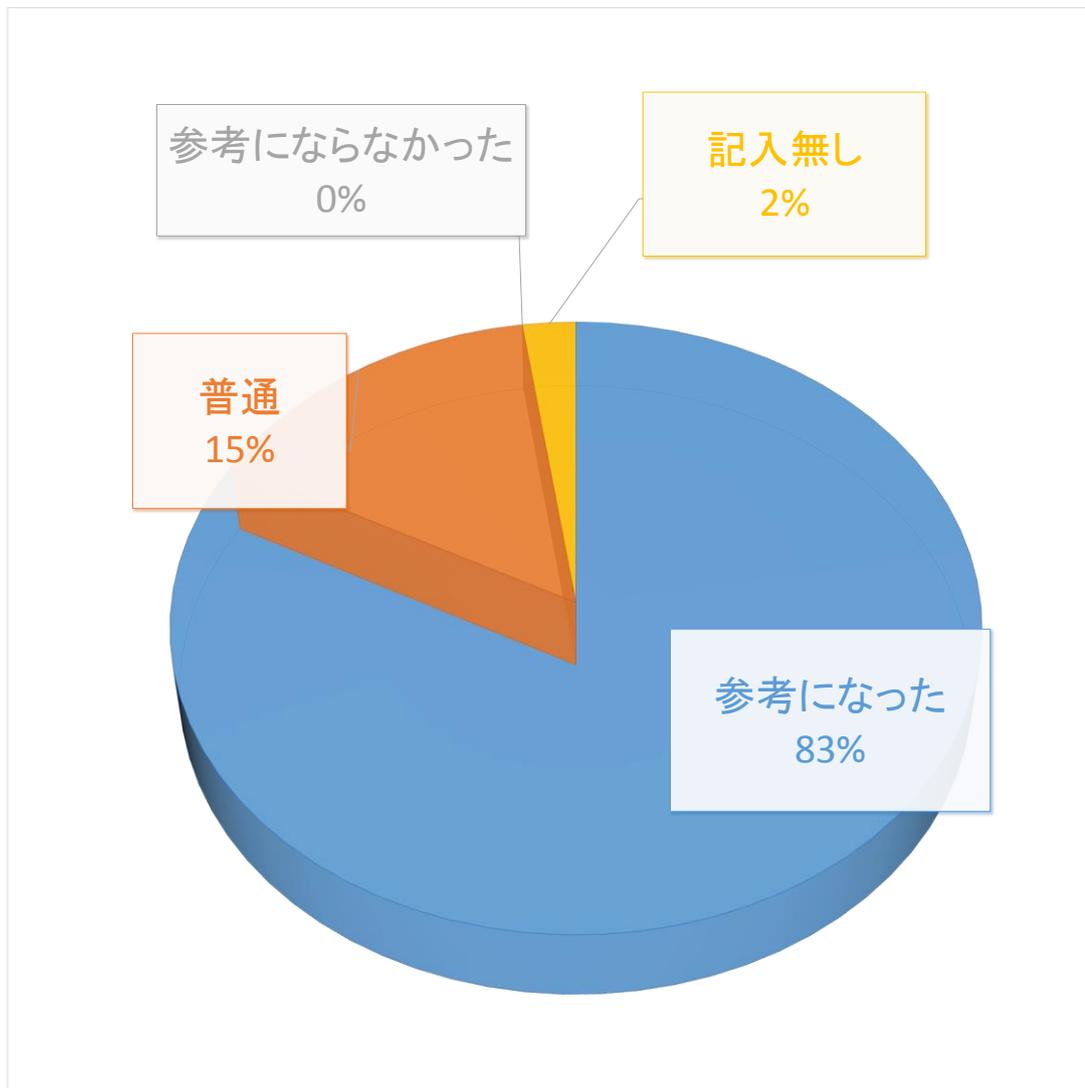


3. 平和企画展の開催を知ったきっかけは？【複数回答可】

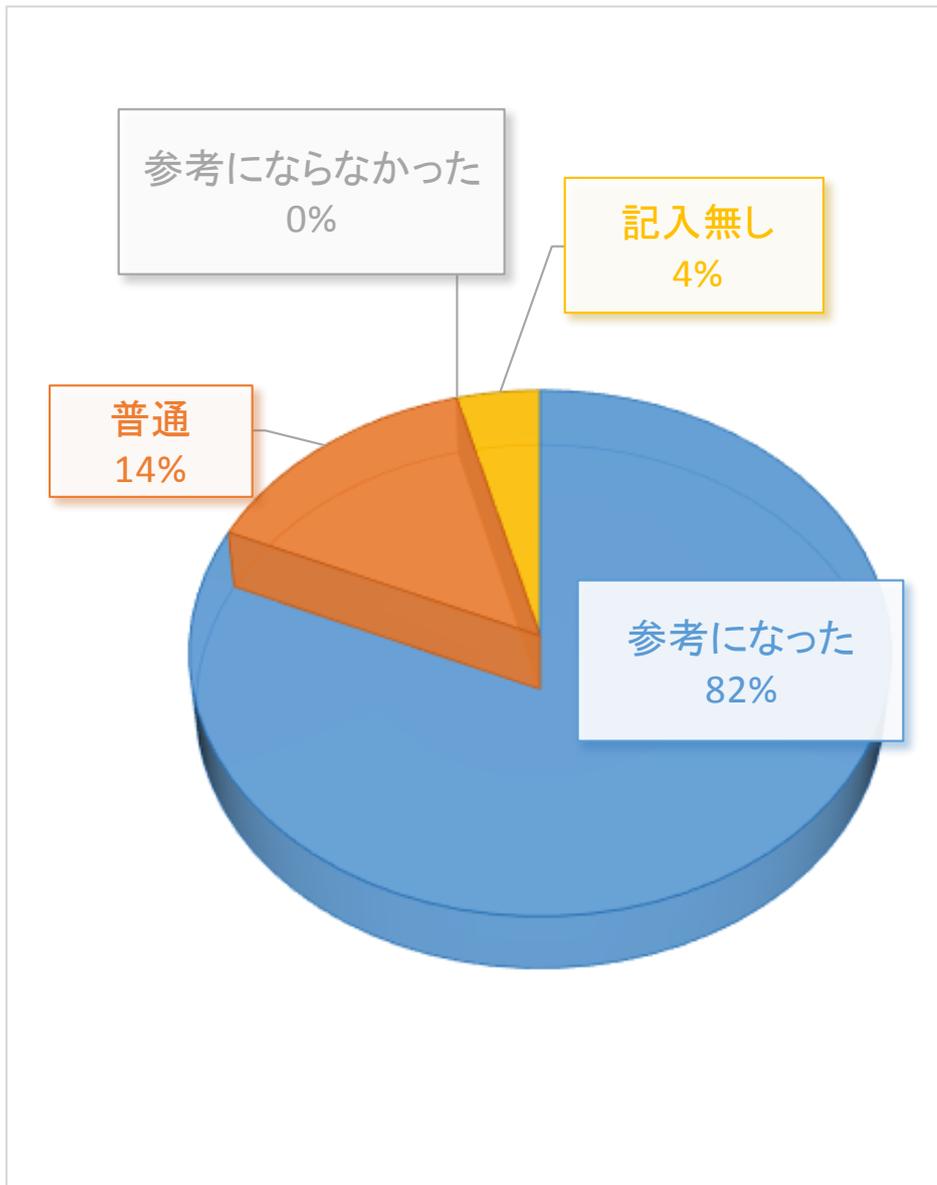


「その他（13%）」の内容：知人や友人から聞いて、誘われて

4. 企画・展示の内容はいかがでしたか？



5. 講演会はいかがでしたか？



6. その他、今回の平和企画展に対する感想・意見等（要約）

- ・ 命の大切さを学びました。（10 歳代）
- ・ 昨年も夏に平和企画展をこの時期にやっていましたが、毎年やっているのでしょうか。12月8日にもやるのもいいと思います。（50 歳代）
- ・ むごい光景です。若い人に是非見せてほしい。怖がる子もいるのが事実。（70 歳代）
- ・ 今はなんて平和なんだろうと、ちょっとしたことで落ち込んでしまう自分が恥ずかしくなった。（40 歳代）
- ・ 私も経験者であり、十分参考になりました。（80 歳以上）
- ・ 破壊と殺戮しかない戦争で人類は何を得るのでしょうか。私にはわかりません。自分は戦後世代なので、当事者の気持ちは100%わかりませんが、パネルを見て少しは理解できました。無名の全ての人たちにご冥福をお祈り申し上げます。（60 歳代）
- ・ 二度と戦争は起こしてはいけないと思いました。（60 歳代）
- ・ 今年の夏に73歳を迎えますが、私も東京大空襲を受けました。乳飲み児の私を家族が守り、業火の中で助かったと聞いています。家も焼かれ、土浦へ友人を頼って疎開。飾られた十数枚の絵は強烈で、命を、平和を訴えるもの、切なるものがありました。（70 歳代）
- ・ 今の日本人は平和ボケしているとおつくづく思った。自分の悩みはこの時代の人達から見たらとっても小さいものだろうと感じた。（40 歳代）
- ・ 世界中から戦争がなくなってほしい。そのためには、酷さやむごさを伝えていく事が重要だと思います。（60 歳代）
- ・ 悲惨さがよく伝わりました。（50 歳代）
- ・ 戦争を二度と起こしてはならない。（60 歳代）
- ・ 当方も75歳、終戦の年は3歳だったが、今でもあの黒い（B29）か判らないが頭の中に残っている。どうしても消えない。（70 歳代）
- ・ 当時、体験している方々の絵の展示がとてもよかった。焼夷弾が展示してあるのにも驚いた。（20 歳代）
- ・ 戦争の恐ろしさを改めて感じ、ゾクゾクしてきた。説明パネルの「しかし」から始まる、無差別爆撃のくだりは、加害国としてのことについても触れられていて、大変重要だと思った。この催しを、多くの知人に知らせたいと思います。（60 歳代）

- ・ 焼けた跡がよくうつっていました。(70 歳代)
- ・ 参考になりました。(40 歳代)
- ・ 子どもと一緒に見ました。これからも続けていくことが重要です。(30 歳代)
- ・ 毎年、戦時下をテーマにした企画展をやってほしいです。(50 歳代)
- ・ 日本人なら知っていなきやいけないものなんだなと思いました。(10 歳代)
- ・ 戦争は二度と繰り返してはならないものだと改めて感じた。幼いころ、祖父や祖母から聞いた戦争の話を思い出し、展示物がリアルに感じた。(30 歳代)
- ・ 本当に二度と戦争をしてはいけません。(70 歳代)
- ・ 当時のことがよくわかりました。(40 歳代)
- ・ このような企画を活発に行っていただきたい。また、各中学校で回覧されるとよいのでは。(50 歳代)
- ・ 亡き祖父母から東京大空襲のことは聞いたことがあったが、とても悲惨なものだと実感した。亡くなった人の年齢のグラフがあり、若年層がたくさん亡くなっていたのを知り、胸が痛くなった。戦争は決してしてはならないと今まで以上に強く思った。(40 歳代)
- ・ せっかく町で行う事業なので、展示内容を豊富にしてほしい。(60 歳代)

【講演会をお聴きいただいた方々の声】

- ・ もっとたくさんの方に聞いてもらえればと思いました。(50 歳代)
- ・ ありがとうございます。(60 歳代)
- ・ 昭和 20 年東京にて空襲を受けた(当時 10 歳)私にとって、この展示以上の体験を受けたので、後世に伝えることの難しさを痛切に感じた。
(80 歳以上)
- ・ 折角の貴重な講演なので、もっと、学校等にも広く話を広めてほしかった。宣伝って難しいですね。(70 歳代)
- ・ 大変勉強になりました。(70 歳代)
- ・ 私は 84 歳です。当時向島に住んでおり空襲の始まりから強烈な印象を刻み付けられたことが忘れられない。布団をかぶって隅田公園に逃げたが、朝の周囲の惨状はすさまじかった。(80 歳以上)
- ・ 平和のありがたさを実感した。平和ボケを国全体で考えるべき。(70 歳代)
- ・ 最近テレビ等で見るが、被害の実態が次第に分かってきたような気がする。(80 歳以上)
- ・ 企画・内容は良かったです。若い方の参加が欲しいです。(70 歳代)
- ・ 藤間様の体験談を伺い、戦争はダメ、絶対にダメと改めて思いました。いつまでも語り継いで欲しいです。(60 歳代)
- ・ 子どもや孫にもお話を聞かせたかったです。映画も良かったです。体験された方は苦しかったですでしょう。現在の生活は本当に幸せの時代になりました。(70 歳代)
- ・ 講演者の体験談を聞いて、身近に戦争を感じる事ができた。(60 歳代)
- ・ 戦争体験者が少ない、国民の 8 割が戦争を知らないなか、このような企画に一生懸命の姿をみて頼もしく思いました。(70 歳代)
- ・ 藤間先生の体験談は素晴らしかった。(60 歳代)
- ・ 実体験の話聞いて、本当にリアルにわかりました。もう二度と戦争をしてはいけないと思いました。(60 歳代)
- ・ 二度と同じ繰り返しはしてはいけません、そのまま平和を。(70 歳代)
- ・ 72 年間、平和であることを感謝したい。この平和を守らねばならない、

貴重な体験を共有したい。(70 歳代)

- ・ 聞きに来た方々がお年寄りばかりだったので、もう少し小中高校生に足を運んでもらえるとよかった。話はとても良かったので、また聞いてほしい。
- ・ 藤間さんの話をもう少し聞きたかった。(60 歳代)
- ・ 疎開した身にとって写真の東京は悲しみの連続でした。色々な見えなかったことも、いくらか分かってきました。誠にありがとうございました。(70 歳代)
- ・ 藤間様ありがとうございました。これからもご活躍ください。(50 歳代)
- ・ 過去は変えられないが、未来は変えられる。こんな悲惨なことが今後一切起きないような世界になってほしい。(20 歳代)
- ・ 国際法で禁止されていたのになんてひどい事だったのか。なぜ今、アメリカに頼っているのか不思議に思った。(40 歳代)
- ・ 今も世界中でいつ戦争が起こってもおかしくない状況（起こっているところもある）で、日本もその方向に向かっている気がして恐ろしい。祖父母の世代も亡くなると、恐ろしさを伝える人もいなくなる。その前に是非、小・中・高校で今回と同じように伝える機会を増やしてほしい。本当に恐ろしいことだと思いました。(40 歳代)
- ・ 大切な貴重な企画をお世話様でした。毎年工夫されご苦労があるとは思いますが、大事なことなので頑張って続けてください。戦争が起きない平和な世界が続くよう自分でできることを考えてやっていきます。(50 歳代)
- ・ 私が生まれる前の出来事で、両親はその時疎開先の栃木にいて、なんとも言葉になりません。ご冥福をお祈りします。(60 歳代)
- ・ 私の生家でも大勢の方が疎開して、また、離れや別家が3件くらいあって、東京の親戚中が大勢生活していたことがよくわかっていました。受け入れた実母が兄さん、姉さんとの生活で、受け入れた生活も大変だったと聞いています。みんなが、親戚中が助け合ったと聞いています。母の口癖、「困った時はお互い様」。今も心に残っています。(70 歳代)
- ・ 貴重な体験を伺い二度と戦争が起こらないよう後世に伝えたい。(80 歳以上)